

令和4年度第3回那珂市総合計画策定委員会 会議録

○日時 令和4年11月9日（水）午後1時30分～午後3時30分

○場所 那珂市中央公民館2階 講座室

○出席者

（1）委員

玉川明委員長、宮崎洋一副委員長、勝井明憲副委員長、
野田敏之委員、増子健一委員、上原精一委員、里口邦夫委員、仲田精委員、松淵慶信委員、
綿引桂太委員、三瓶哲也委員、後藤京子委員、篠原恵子委員、岡田真理子委員、
木内芽生委員、萩野谷静子委員、小針唯香委員、中島唯委員、山口真太郎委員、
大津貴哉委員、篠原広明委員、加藤裕一委員、石井宇史委員、高安正紀委員、会沢実委員、
金野公則委員、海老澤美彦委員、田口裕二委員、小田部茂生委員

（2）事務局

企画部：部長 大森 信之

政策企画課：課長補佐（総括） 宇佐美智也、課長補佐（政策企画グループ長）和田哲郎、
主幹 坏義彦、会計年度任用職員 檜山夏希

（3）コンサルタント会社

株式会社 ギョウセイ：研究員 堀内康史

○欠席者

（1）委員

鹿志村貢委員、青木麻実委員、稲川敏夫委員、渡邊勝巳委員

○会議内容

1 開会

〔司 会〕 本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。
ただ今より、令和4年度第3回那珂市総合計画策定委員会を開催いたします。
会議の開会に当たりまして、玉川明委員長より、ごあいさつをいただきたいと思います。

〔委員 長〕 改めまして皆さんこんにちは。
お忙しい中、第3回目の総合計画策定委員会にご出席いただきありがとうございます。
いよいよ、最後の1回ということで、本日は総合計画（案）についてご審議いただくこととなります。
総合計画ですので、非常に幅広い盛りだくさんの内容になっています。ややもすると総花的になってしまうというところもありますが、事務局からも説明がありま

すが、見開きできれいにまとめた部分がございます。ご覧いただければありがたいと思います。

総合計画ということで幅広いのですが、我々の市の方針を定めたものが総合計画になります。この方針に基づいて、これから毎年予算の査定などを踏まえて、個別具体の事業を決めていく際の方針となるものですので、しっかりと議論いただいて忌たんのないご意見をいただければありがたいと思っております。

早速進めたいと思いますので、ご審議の程どうぞよろしくお願いいたします。

〔司 会〕 ありがとうございます。

本来であれば、ここから協議に移らせていただくところですが、委員の変更がありましたので、ご報告させていただきます。令和4年10月の人事異動により加藤総務課長となりました。それに伴いまして、加藤総務課長を策定委員に任命しました。加藤委員よろしくお願いいたします。

〔加藤委員〕 10月から総務課長となりました加藤です、どうぞよろしくお願いいたします。

〔司 会〕 ありがとうございます。

それでは、協議の方を進めたいと思いますので、ここからの進行を、那珂市総合計画策定委員会設置規則第5条第1項の規定によりまして、玉川委員長にお任せします。

玉川委員長、よろしくお願いいたします。

2 協議事項

(1) 第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）について

〔議長〕 それでは、次第に従いまして、会議を進めます。

次第の2 協議事項 (1) 第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

〔事務局〕 それでは、説明に入る前に、資料の確認をさせていただきます。

着座にて失礼します。

本日の資料につきましては、事前に郵送等でお配りさせていただきましたが、

- ・ 令和4年度第3回那珂市総合計画 策定委員会 次第
- ・ 那珂市総合計画策定委員会 委員名簿
- ・ 資料1 第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）
- ・ 資料2 令和4年度第2回那珂市総合計画策定委員会 委員意見及び対応一覧

が、本日の資料となります。

以上の資料に、不足等はございませんでしょうか。

それでは、「第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）」について、ご説明させていただきます。

【資料1】をご覧ください。

内容の説明に入る前に、資料の修正点がございますので、まずはそちらについて、ご説明いたします。

29ページをお開きください。

中段部分に「基本事業と方針、主な事務事業」とございますが、「主な事務事業」を「主な現事務事業」と、現在の「現」という字の追加をお願いします。

また、その下段の表の右側の「主な事務事業」も同様に、「主な現事務事業」と修正をお願いします。

この修正につきましては、このページだけではなく、これ以降に記載のある全ての箇所と同様の修正をお願いします。

なお、「主な現事務事業」と修正する理由でございますが、ここには、あくまでも、現時点で取り組んでいる事務事業のみを記載し、現在検討中の事業などにつきましては、記載しておりませんので、分かりやすくするために、「現事務事業」と明記することにいたしました。

次に46ページをご覧ください。

基本事業1の方針の上から5番目の●になりますが、「婦人防火クラブ」とありますが、現在の名称が「女性防火クラブ」と変更になっているとのことでしたので、この場で修正をお願いいたします。

その他にも、資料の修正箇所がいくつかございますが、文言等の細かい部分の修正ですので、説明については、省略させていただきます。

それでは、【資料1】の内容について、ご説明させていただきます。

今回お示しします、第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）につきましては、前回、第2回目の「策定委員会」において、皆様にご意見いただいた点や、その後、8月24日に開催した「総合開発審議会」において、委員の方からいただいたご意見に対して、庁内で組織する「那珂市総合計画策定委員会ワーキングチーム」を中心に協議をし、その内容を反映した形となっております。

なお、前回の策定委員会におきまして、委員の皆様からいただいたご意見や、事務局の回答、その後の対応につきましては、お配りさせていただいております【資料2】に記載してございますが、【資料2】の説明につきましては、これからご説明いたします【資料1】の説明の中で、一緒にご説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

その他、文言の修正なども行いました。さらに、冊子の後半部分に、「資料編」も追加し、おおよそその完成形に近い状態となっております。

これからの説明につきましては、前回の策定委員会でご説明した、「素案」からの変更点などを中心に、要点を絞ってご説明させていただきたいと存じます。

それでは、まず、12ページをお開きください。

「第2部 後期基本計画」、「序章 計画策定に当たって」の、「1 まちづくりの目標」におきまして、『将来世代に残すことが大事であり、前期基本計画にない新たな視点として「持続可能性」が問われています。』というご意見をいただきました。

このことを受けまして、まちづくりの目標の説明文の2行目にございます、「目まぐるしく変化する社会情勢の中でも」の次に、「将来にわたって」という文言を追加し、『将来にわたって「いい具合に田舎なこの場所でのびのびと暮らし、いい時間を過ごしながら」』という表現にしました。

次に、1枚おめくりいただき、13ページをご覧ください。

「2 計画策定の考え方」におきまして、下段に記載の『「イメージ図」に、上段に記載の、(1)から(4)までに対応するものは確認できるが、「(5) 地域につながる土地利用」に対応する記載がなく、漏れているのか、あえて表記していないのか。』というご意見をいただきました。

前回の策定委員会の会議の中では、「(5)の「地域につながる土地利用」の視点は、基本構想に既に入っていることから、あえて表記はしていません。」と事務局より回答しましたが、分かりやすくするために、イメージ図右側の「DXの推進」の下に、「地域活性化につながる土地利用」を追加で記載しました。

次に、隣の14ページをご覧ください。

こちらは、計画策定の考え方(1)の「那珂ビジョンの後期基本計画への一体化」についての記載でございますが、こちらでは、中段の「那珂ビジョンの体系図」の修正と、下段のオレンジの線で囲ってございます、「那珂ビジョンとは」という説明文の追加になります。

那珂ビジョンの体系図につきましては、元々の「那珂ビジョン」の冊子の中に掲載されていましたが、全体像をベースに、作成したものを掲載しました。

また、この見出しとして「那珂ビジョンの後期基本計画への一体化」とございますが、そもそも、「那珂ビジョン」について、あまり存じ上げていない方もいるのではないかと想定し、下段に「那珂ビジョン」の説明文を追加しました。

次に、23ページをご覧ください。

「将来人口推計」についてでございますが、グラフの左から2番目に、「令和2年」の数値を追加しました。

これは、グラフの一番右側の「令和9年」の人口推計値を、令和2年の国勢調査の数値を基に算出していることや、前のページの22ページの説明文の中に、令和2年国勢調査の説明が記載されていることから、追加したものになります。

また、令和4年の数値につきましても、実績値が出ましたので、「推計値」から「実績値」に、数値や表記を修正しております。

次に、1枚おめくりいただき、25ページと26ページをご覧ください。

こちらは、前回の策定委員会と総合開発審議会でもいただいたご意見を考慮し、追加したのものになります。

策定委員会では、「素案全体について、総花的で何に力を入れるのか見えづらい。重要施策を明確にする必要があるのではないか。」というご意見や、総合開発審議会では、「現状維持を良しとしている感じを受け、発展していく那珂市というのが見えないのではないかと思う。」というご意見や、「ワクワクする内容が、ワンポイントでもあればいいと思う。」、「シンボリック（象徴的）なものが必要」などのご意見をいただきました。

総合計画につきましては、やはり市全体の施策をまんべんなく記載することとなりますので、どうしても単調になってしまいがちです。

その中でも、後期計画期間の5年間で、市の将来像である「人と地域が輝く安心・安全な住みよいまち なか」や、今回、まちづくりの目標で定めた「住みよきプラス活力あふれるまち」に向かっていく姿をイメージしたイラストを見せてはどうか、ということで、今回、こちらのページに見開きで追加させていただきました。

まず、白抜きで囲ってある部分につきましては、「重点事業」や「那珂ビジョン事業」、「総合戦略に該当する事業」であったり、今回の後期基本計画策定に当たっての考え方に該当する内容であったりを盛り込んでおります。

それぞれに記載のある説明文につきましては、どうしても堅苦しくなってしまいますので、それぞれの見出しにつきましては、なるべく、やわらかい表現を意識して作成しました。

また、左下から右上に向かっていく矢印上に表記のある、「DXの推進」や「SDGsの推進」などにつきましては、この資料の10ページに記載のある、「自治体に求められる視点」の内容を記載しております。

後期基本計画の策定に当たって、このような視点を踏まえて、目標に向かってそれぞれの施策に取り組む、ということイメージしております。

次に、1枚おめくりいただいて、次のページの27ページ以降の「基本計画」についてでございます。

こちらは、「第1章 みんなで進める住みよいまちづくり」の「施策1 地域コミュニティの充実を図る」になります。

さらに1枚おめくりいただき29ページ、中段部分の「基本事業と方針、主な現事務事業」の表をご覧ください。

前回の策定委員会でお示しました「素案」の段階では、那珂ビジョン該当事業につきましては、表の右側の「■主な現事務事業名」の後ろに、「★印」を付けておりましたが、今回の「案」では、後期基本計画策定の考え方の1つである「那珂ビジョン」との一体化したことを、より「見える化」するために、基本計画中の「基本事業と方針、主な現事務事業」の表記方法につきましては、「那珂ビジョン」の（育成）・（支援）・（投資）について、それぞれ色分けをし、見出しとして記載する追加をしました。

さらに、左側の欄の、「方針」の欄の●を、「那珂ビジョン」の（育成）・（支援）・（投資）の、それぞれに対応する場合は、それらと同じ色を付けることといたしました。

今回の後期基本計画の策定では、13ページに記載のあるとおり、5つの考え方を踏まえたものになっております。

そのうちの1つである、「那珂ビジョンの一体化」につきましては、令和元年5月に策定した、当該ビジョンにおいて特に取り組むべき施策の方向性を示し、第2次那珂市総合計画とともに、施策に取り組んできた重点事項であり、総合計画と一体化し、その中で、PDCAサイクルをまわしていくことになることから、重要な考え方と捉えて、「見える化」を強調した記載といたしました。

次に、同じく29ページの「基本事業1」の、「方針」の2つ目の●になります。

素案では、「新たな手法での加入促進策を検討し、自治会への加入促進や退会抑制に努めます。」となっておりましたが、「新たな手法での加入促進策を検討し」の部分を、「市民自治組織と連携した取組により」と修正いたしました。

また、この部分では、『防災・防犯の方面から、自治会の重要性を啓発するという考えられると思います。』といったご意見もいただきました。

このことにつきましては、「自治会への加入を呼びかけるチラシに、防犯・防災活動について掲載して、災害時や、困ったときに協力して地域を守る、共助の重要性を伝え、自治会への加入を呼びかけています。」ということで、防犯・防災の面からの啓発活動は、行っているということでございます。

次に、少しページが飛びまして、57ページをご覧ください。

こちらは、「第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり」の「施策4 健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る」についてでございます。

こちらにつきましては、前回の総合開発審議会において、「ソーラーパネル設置と環境保護の関係」について、ご意見がございました。

「優良農地の保護とか、まとまった山林、貴重な平地林とかが保護されるというような記述になればよいかと思っている。」というご意見を踏まえて、「基本事業3 自然と生活環境の保全」の、1つ目の●の表現の中に、3行目の後半部分になりますが、「生活環境や景観、防災に配慮するなどの助言及び指導を行うとともに、必要に応じて市要綱や協定書を見直すなど、適正な設置と管理に努めます。」という文章を追加しました。

こちらの表現を加えることで、「環境の保護」とまでは言えませんが、「配慮すること」を明記いたしました。

なお、今回追加した「生活環境や景観、防災に配慮するなどの助言及び指導」につきましては、「茨城県太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドライン」に沿った内容となっております。

次に、1枚おめくりいただき、右側の60ページをご覧ください。

こちらは、「第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり」の「施策5 地球にやさしい持続可能な社会への転換を図る」についてでございます。

こちら、前回の総合開発審議会において、下段部分の「基本事業2 地球温暖化対策と脱炭素社会づくり」につきまして、「カーボンニュートラル」についてのご意見がございました。

「地球環境の話が出ているが、啓発事業のみということになっているので、カーボンニュートラルについて、後期基本計画には見えるように切り込んでみてはどうか。」というご意見を踏まえ、「ゼロカーボンシティ宣言による二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、再生可能エネルギーの取組について先進事例を参考に効果的な取組を検討します。」という文章を追加しております。

具体的な方向性につきましては、現在、総合計画後期基本計画と同じく策定作業を進めております、「環境基本計画」に盛り込むこととなりますが、啓発だけではなく、具体的な取組を行っていく姿勢を追記しております。

なお、「ゼロカーボンシティ宣言」につきましては、令和2年7月に、関東甲地域の73の市町村と、民間事業者2社で構成される「廃棄物と環境を考える協議会」において、賛同した団体が、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しております。

次に、またページが飛びまして、122ページをご覧ください。

「第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり」の、「施策5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る」についてでございます。

「基本事業1 歴史資産の保護・保存と活用」につきましては、「歴史資産を観光

資源として活用」について、「歴史文化の継承は進んでいますが、観光資源として活用する取組は遅れており、茨城空港も近いことから、インバウンドなどに取組んでもらいたい。瓜連や額田には歴史があるが、グーグル検索をしてもなかなか出てこないの、発信を頑張ってもらいたい。」というご意見をいただきましたが、この「基本事業1」の、1番下の●に、「市内に残る歴史資産や伝統文化については、郷土への愛着心や誇りを醸成するために活用する他、産業や観光の振興を図るための地域資源として活用を進めます。」とございまして、方針としてはこちらでお示しております。

観光資源として活用するよう、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

次に、1枚おめくりいただき、124ページをご覧ください。

「第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり」の、「施策6 多様な文化と交流する機会の充実を図る」についてでございます。

「基本事業1 国際交流の推進」に、「国際交流の推進についての方針を追加してはどうか」という意見が、庁内での検討で出ましたので、「基本事業1」の3つ目の●に、「海外の姉妹都市などの様々な分野での交流により、国際親善を推進します。」という文章を追加いたしました。

次に、また少しページが飛びまして、140ページをご覧ください。

「第6章 行財政改革の推進による自立したまちづくり」の、「施策1 効果的・効率的な行政運営を推進する」についてでございます。

こちらにつきましては、「職員の意識改革」について、那珂ビジョンにも、職員の意識改革が目指すべき姿の1つにあることから、課題の中に項目を追加いたしました。

追加した内容でございますが、課題の最後の●の部分の、「変化する社会情勢から生じる課題や多様化する市民ニーズに対して、意欲を持って職務を遂行できるような職員の意識改革に努める必要があります。」という文章になります。

次に、1枚おめくりいただき、右側の142ページをご覧ください。

「基本事業5」のタイトルの前段に、「デジタル化の推進と」を追加し、「デジタル化の推進と効果的な行政運営」というタイトルに変更いたしました。

こちらは、後期基本計画の考え方にもある「DXの推進」の考え方を、より見せるために追加したものでございます。

さらに、この「基本事業5」には、「働き方改革」と「仕事の見える化」についての項目も追加いたしました。

内容としましては、下から2番目の●になりますが、「多様で柔軟な働き方が選択できる環境を整備することにより、職員のワーク・ライフ・バランスを確保するとともに、仕事の見える化を意識して情報の共有と業務の効率化を図り生産性を高めることで、職員が意欲を持って職務を遂行できる環境づくりを進めます。」ということとございまして、こちらは、先ほど「課題」の部分で追加をしました「職員の意識改革」にもつながる部分であり、職員が意欲をもって職務を遂行することで、より効果的な行政運営を行うことができるようにするための考え方として追加いたしました。

次に、147ページをご覧ください。

「第6章 行財政改革の推進による自立したまちづくり」の、「施策3 多様な行政サービスを提供する」についてでございます。

こちらにつきましては、「窓口サービスの充実」について、「窓口サービスが充実していると感じる割合が指標にありますが、満足していない理由を分析し、デジタル化等で解消していくことが重要だと思います。」というご意見をいただきました。

改めて「市民アンケート」の結果を確認したところ、「令和3年度市民アンケート」の自由意見の抜粋になりますが、

- ・発行申請書に記入等が煩わしい
- ・公的証明の金額が高い
- ・待ち時間が少なくていい
- ・市民課はいつも混雑している。窓口を増やしてほしい

・家族の死亡手続をした際に、必要な手続1か所で説明してくれ、分かりやすくスムーズに手続を行うことができた
といった市民からの意見がございました。

このことから、「スムーズな申請」、「簡単な手続」を、市民が求めていることが分かります。

タブレットを使用した説明や、電子申請などで、市民の満足度を上げられるのではないかと考えられ、このような取組も含めて、窓口サービスの充実を図る取組を検討してまいります。

続いて、1枚おめくりいただき、150ページをご覧ください。

ここからが、今回初めてお示しいたします、「資料編」についてでございます。

さらに、1枚おめくりいただき、151ページをご覧ください。

この、151ページから162ページまでが、「用語集」になります。

「用語集」につきましては、前期基本計画では、その用語が記載されているページの下段部分に、説明書きを小さく掲載しておりましたが、用語が複数のページで掲載されている場合、後から出てくる用語の説明文がどこにあるか分かりづらいのではと考え、「資料編」にまとめて掲載することにつきましては、前回の会議までにご説明させていただいたとおりでございます。

用語につきましては、前期基本計画から、引き続き掲載が必要と考えられる用語を掲載するとともに、新たに説明が必要と考えられる用語を加えたものを掲載しております。

なお、用語集に掲載する用語につきましては、本文中の用語の後ろに、「*」（アスタリスク）を付けております。

次に、ページが飛びまして、175ページをご覧ください。

こちらは、「市民ワークショップ」についてでございます。

後期基本計画を策定していくに当たり、市民の意識がどのように変遷し、今後、まちづくりにおいて行政が担うべき役割を改めて問い直す必要があるため、今後のまちづくりを市民とともに考え、市政に活かしていくことを目的に「市民ワークショップ」を開催いたしました。

「一般市民ワークショップ」では、「防災」、「産業」、「観光」、「地域コミュニティ」、「福祉」、「教育」、「行政のデジタル化」など、これからのまちづくりを考えることをテーマに2回、「高校生ワークショップ」と「大学生ワークショップ」では、今後「関わっていきたいまち」にするために必要なことをテーマに、それぞれ1回、合計4回のワークショップを、7月下旬に開催いたしました。

全体的な意見としましては、まず「一般市民ワークショップ」では、「自然豊かで住みよいという認識の意見が多い一方で、地域コミュニティが希薄化しており、地域生活や福祉的な課題となっている。」という意見や、「企業誘致や情報発信等、那珂市の立地優位や魅力を活かして地域活性化につなげていくことを望む。」という意見をいただきました。

また、「高校生ワークショップ」では、「自然豊かな点を好意的に感じる意見が多かった一方、鉄道やバスの本数がもう少しあるといい」、「ショッピングモールなどの施設が少ないことを課題に感じる」といった意見や、「那珂市の魅力アップに向けては、まちのブランドづくりやイベントの充実」といった意見、「大学生ワークショップ」では、「交通利便や商業施設は充実している」という意見や、魅力アップに向けては、那珂市がベッドタウンとして発展してきた経緯をとらえ、まちづくりの方向性として通勤に便利な住みよいまちを目指してみてもどうか」という意見をいただきました。

また、高校生、大学生ともに、卒業後の進路として、参加者の中にももちろん那珂市民もおりましたが、特に「那珂市」を強くイメージしている方はあまりいらっしゃりませんでした。

しかし、県北地域ないし県内で就職や就学することを希望している方が多かったことから、こうした若い方々に、将来、那珂市に住んでいただけるよう、那珂市のイメージや住みよさを向上させていく必要性を感じました。

また、隣のページの、176ページから178ページまでに、「市民ワークショップ」の参加者からいただいた、主な意見につきまして、対応する施策ごとにまとめた一覧表を掲載してございますので、後でご確認いただければと存じます。

これらの、いただいたご意見につきましては、各施策の方針に反映していることを確認しておりますが、方針に反映していない意見につきましては、庁内で共有し、今後の施策を展開する上での参考にしていきたいと考えております。

次に、178ページの下段部分、「パブリック・コメント」についてでございます。

第2次那珂市総合計画後期基本計画の「素案」を、令和4年8月29日から9月27日までの間で、市ホームページへの掲載と、本庁政策企画課、瓜連支所及び市立図書館での閲覧により、意見の募集を行いました。こちらに記載のとおり、意見についてはございませんでした。

次に、1枚おめくりいただき、179ページをご覧ください。

この、179ページから186ページまでが、「那珂ビジョンの取組と総合計画での位置付け」についてでございます。

今回の後期基本計画では、計画策定における5つの考え方がございまして、そのうちの1つが、「那珂ビジョンの後期基本計画への一体化」となっております。

今後も継続して取り組んでいく那珂ビジョンの事業に関して、総合計画上どのように一体化しているかを分かりやすくするために、「資料編」に、那珂ビジョン該当事業と、それぞれに対応する方針を掲載いたしました。

こちらの内容につきましては、左から、那珂ビジョンにおける「基本方針」、「目指すべき姿」、「取組事項」となっており、中央部分には「関連事業名」と「取組状況」、右側部分には「総合計画上の方針部分の記載場所」とその「記載内容」となっております。

この「総合計画上の記載の内容」につきましては、那珂ビジョン該当事業の取組が、後期基本計画の期間中、どのような方針で取り組んでいくかを紐づけたものでございまして、これらの方針は、那珂ビジョン該当事業のために作られたものではございませんが、那珂ビジョン該当事業の方向性を含んでいる方針となっております。

次に、187ページをご覧ください。

現在、まだ何も掲載されていない状態ではございますが、ここには、令和4年8月18日付けで市長より那珂市総合開発審議会会長へ提出されました「諮問書」と、今月11月29日に開催される、第3回那珂市総合開発審議会において協議される「答申書」について、掲載する予定でございます。

次に、次のページの188ページになります。

この188ページから198ページまでが、「成果指標一覧」についてでございます。

これらは、27ページから148ページまでの基本計画中に記載されている「成果指標」を取りまとめた一覧表になりますが、基本計画中には記載のない「データの出所」や、「算出方法」、「目標値の設定の考え方」が、それぞれ掲載されております。

また、前回の策定委員会でもご説明したとおり、成果指標の考え方につきましては、前期基本計画を踏襲し、時点修正することを基本的な考え方としてございまして、前期基本計画の目標値が、未達成の場合は、前期基本計画の目標値に設定することを原則とし、前期基本計画の目標値を達成している場合は、現状値以上の値を設定するという、統一した基準の上で設定してございます。

なお、成果指標全66指標のうち、前回お示しした「素案」から変更になりましたのは、188ページに記載の施策の大綱1の施策3の2番目、このページでいう一番下の指標でございまして、基本計画中で申しますと、36ページに記載の2つの指標のうち、2番目の成果指標でございます。

成果指標が、「市民活動団体数」から、「市の行政情報を把握していると答えた市民の割合」に、変更となっております。

変更の理由につきましては、現在、「市民活動団体」の定義や登録要件について、

一部見直すこととなりまして、今後、登録団体数の大幅な減が見込まれることや、来年度の登録から、この見直しを実施するため、今年度中に数値が確定せず、新たな目標値を設定できないため、ここの成果指標につきましては、施策評価の成果指標となっている指標を、新たに設定いたしました。

最後に、199ページをご覧ください。

こちらは、「後期基本計画とSDGsの関係」についてでございます。

後期基本計画の策定の考え方の1つである、「SDGsの推進」につきましては、SDGsと関連する本市の主な取組をお示ししておりましたが、その内容を一覧にしたものが、こちらの表でございます。

この一覧表は、那珂市における事務事業と、SDGsにおける169のターゲットを紐づけた内容が、反映したのになってございます。

この反映した内容につきましては、基本計画における、各施策の最初のページの右上の部分にも、アイコンの表示を追加で記載してございますので、ご確認ください。

以上、長くなりましたが、「第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）について」の説明となります。

ご協議の程、よろしく願いいたします。

【質疑応答】

〔議長〕 ただ今事務局から説明がありました、第2次那珂市総合計画後期基本計画（案）に関しまして、皆様より、何かご意見やご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

〔松淵委員〕 松淵と申します。69ページの上のところ、同じ文章が21ページの左上にも書いてあります。この内容について、「国道118号の4車線化と茨城北部幹線道路とあり、これらを地域活性化の契機と捉え、土地利用の在り方を検討します」という内容です。北部幹線道路の開発ということで、以前、市長は新年のあいさつで北部の道路の活性化について話をしていたのですが、最近その件について確認したら、私たちの認識としては当然国道118号の4車線化を活かして、集客施設を誘致するというのも入ってくると思っていたが、それは入っていないと最近聞きました。

是非、入れてほしい。話すとき長くなるので、今資料を配布しました。

そこにいろいろ文章書いてありますが、最後の文章を具体的に是非、総合計画に入れてほしい。

この件に関して、ある女性が突然来てお話がありました。もしダメなら、嘆願書の提出を考えていると言われました。私としては、嘆願書は書きたくない。市長に対して要望書を出しているし、皆さんと対談もさせていただいている。

副市長にも頑張ってもらっているので、もう少し様子を見させてくださいと話した。

そういうこともあり、是非見える形で文章を入れていただければと。

〔事務局〕 ご提案いただきありがとうございます。こちらにつきましては、前からいろいろご提案いただき、検討を進めている案件ですが、このページのこの表現につきましては、当然瓜連地区の集客施設等の開発も意識しながら表現をした文章です。集客施設を整備するには、土地利用の在り方を検討することがまず必要で、この検討を経ないとその先に行けないということがありますので、検討をしますという表現をさせていただいています。さらに一步踏み込んだ表現をすべきかどうかは、持ち帰って検討させていただきます。ここでは、そういったことを意識した上での表現になっていることだけご理解いただければと思います。

〔松淵委員〕 検討し、実質的なことを書いていただかないと、なしのつぶてになってしまう。

〔議長〕 地元のご要望は重々理解しております。まずこういったことは土地利用の規制がありますから、総合計画の中にまずこういった形で位置付けるというところから始まっていくと思います。ご意向を踏まえながら十分しっかりやって行きたいと考えています。

〔仲田委員〕 木崎地区まちづくり委員会の仲田です。75ページ下水道関係ですが、（基本事業1）「方針」の●3番目ですが、「公共下水道全体計画見直し方針に基づき、公共下水道全体計画区域を縮小します。」とうたっていますが、これは計画を整備に切り替えるようにするのか、どうなのか、この辺の説明をお願いしたいと思います。

〔金野委員〕 下水道課長の金野です。下水道事業につきましては、近年の人口減少や少子高齢化など地域社会構造の変化など整備を取り巻く諸情勢が大きく変化していることなどから、公共下水道見直し方針を策定しましたが、公共下水道のスケールメリットを有効的に使えるところと、合併処理浄化槽が有利なところを色分けしたことから「公共下水道全体計画区域を縮小します。」という表現になっています。●の2つ目の「新たな区域を拡大します」と、先ほどの「縮小します」と相反している表現になっていますが、今整備を行っている区域の完了に目途が付いたことから、公共下水道のスケールメリットを有効的に使える新たな区域を拡大していくということになります。

〔仲田委員〕 計画を縮小するということですか。

〔金野委員〕 今後の公共下水道整備に関する方針を令和3年3月に決めました。その中で約440ヘクタール近くが縮小されるということになります。具体的に、瓜連地区平野台団地の法面^{のりめん}も計画に計上されているため、その法面をカウントしておく必要がないところや、将来の土地利用を考慮し合併処理浄化槽による汚水処理が適当であると判断した区域を縮小しています。引き続き公共下水道区域として、市の関連計画や開発計画などの区域は残しています。公共下水道を計画どおり行うにはまだまだ何十年もかかってしまうため、地域の皆様にご迷惑をかけてしまうこともあることから合併処理浄化槽への転換をお願いしています。そのための合併処理浄化槽の補助の拡充もしています。何とぞ、皆様のご理解をお願いしたいと思います。那珂市だけでなく、全国的にも同様な流れになっています。

〔篠原委員〕 女性ネットワークなか、会長の篠原です。

前回の会議を欠席していますので、前回の資料である【資料2】を見て、最後の欄、宮崎副委員の意見について、一言述べたいと思います。「（計画は）総花的で、何に力を入れるのか、明確にした方がいいのではないか」という意見だったと思います。私も5年前、この計画の策定委員でした。やはり、そのときも、市の案を見たときにそういう感想を持ったことを覚えています。しかし、今一つ一つ見ていくと、どれも手を抜けない大事なことばかりで、余計なことは書いていない中で、この中からどれを強調するのか選ぶのは難しいことだと思います。

5年前の策定委員会では、それぞれ意見を出したら、一番多かったのは、防災に力を入れて、安全・安心なまちづくりに取り組んでくださいという意見でした。東北の大震災から5年ぐらいのときだったので、その片付けも終わっていない時期で不安がまだ残っていたということだと思いますが、しかしあれから5年経って、世の中を見渡しますと、5年のうちの3年はコロナウイルスのパンデミックに翻弄され、まだ収束しない。そして国際間の紛争が生じて東西に緊張が走っている不安。それに関連して物価の高騰。エネルギー不足からくる、東海第2原発の再稼働の問題など、次から次へと不安の波が押し寄せているところです。

やはり引き続き防災を充実させるため、緊張感をもって、市役所は対処して欲しい。今も十分やっていることは承知していますが、さらにその必要がある状況にあると、おそらく市民の皆さんも感じていると思います。

もう一つ重要なのは、そういうことを充実させるために、お金が必要で、収入の

道を確保しなければ、そういうことも実現しないということで、私はその際（前回策定時）は防災よりも最初に産業発展させて、収入を増やすことだと、第一番に挙げたのですが、今も変わりません。

やはり企業誘致なり、その方面も市はしっかり頑張っていますが、さらにしっかりしなければならぬ状況かと思えます。市内で、家庭を持って子どもを育てて働く女性は、やはり職場と家が近い方が、子育てがしやすい、そういう意味で、那珂市なら近いところで仕事ができる、だから那珂市に家をつくるのだ、というようなことで、事業所を増やして、収入を増やせば、どんな分野でも充実させることができるということはまあ、皆さん誰もがご存じだと思いますので、改めて確認の意味で、私は申しています。この防災を強調するに当たって、後期計画案の順番が並んでいますが、そういう順番を変えるとか、防災を一番上に持ってくるとか、そういう話を私はここでするつもりはないのですが、那珂市を引っ張って行く那珂市の市役所の皆さんの、特にリーダーの方たちには、市民が不安を抱えながら生きていること、心は見えないので、誰かが時々言わないと、あたかもないかのように、ことが進んでいって置き去りにされてしまう。気が付いたときに何かが起きてしまって、慌てるということになるかと思えますので、今まで以上にしっかりと取り組んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

〔議長〕 ありがとうございます。ご意見をしっかり受け止めながら、市政運営に努めて参りたいと思います。

〔勝井副委員長〕 まず副委員長として申し上げますが、今日で最後なので、言い残しのないように。ご意見いただければと思います。

私の辛口の意見を申し上げます。今篠原さんから話がありましたが、まず、計画全体として、施策の数が30、基本事業が90、事務事業はそれ以上になるわけです。これだけの事業に、公平にリソースをかけて取り組むというつもりは多分市の方でもないと思いますが、どこでも、市民向けの概要版でもいいから、どこに重点的に取り組むのか、をきちっと示してほしいと思います。重点施策として示せば、市民の市政に対する関心もより高まるのではないかと思います。

それから、25ページ、26ページについて、今回新しく出てきたページですが、位置が少し違うように思う。できれば最初に、目標を先に示した方がいいのではないかと思います。内容についても問題があって、SDGsやカーボンニュートラル、DXという表現はそのまま国とかの表現なので、那珂市らしさを入れて表現したらどうか、と思います。「住みよきプラス活力あふれるまち」という目標があるのですから、その目標に向けてうまくまとめたらいのではないかと思います。例えば、24ページに施策の体系が提示されていて、これを中心にまとめてもいいのではと思います。少しやさしい説明文にして。6つ（の施策の大綱）は少し多いけど。写真やイラストもいいのですが、何の写真あるいはイラストかがすぐ分かるものを載せるべきだと思います。

できればこのページを、24ページの前において、施策の体系をその後に置くと。ともかく、那珂ビジョンということも入ってきたので、非常に複雑になって、分かりにくくなっているのです、その辺を上手に整理して、第1章が始まる前までのページをうまく作ってほしいと思います。

さらに、SDGsを大きく取り上げていますが、このコンセプトは、多様性や多文化共生なのですね。それを守るということです。最近の世界情勢を見渡すと、ロシアの問題、中国、北朝鮮とかいろいろありますが、世界が二極化している。そういう状況を見ますと、世界が一致した取組ができるか、誰一人取り残さない、そういう目標が2030年に達成できるか、怪しい。そのことを頭に入れて、取り組んでいただきたいと思います。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局からありますか。

〔事務局〕 ご意見ありがとうございます。25、26ページにつきましては、前回の策定委

員会と総合開発審議会の皆様の意見をいただきまして、反映した内容となっております。

今頂きましたご意見ですが、写真の見やすさ、メッセージ性などにつきましては、精度を上げた内容にできるか検討させていただければと思います。

ご意見ありがとうございます。

〔議長〕 大変ありがとうございます。この他ございますか。

〔木内委員〕 木内酒造の木内です。

26ページに気になったところがありまして、SDGsの推進ということが書かれているのですが、本当にSDGsがこの那珂市で進めていけるのかが疑問でして、実際に県南ではSDGsということで弊社に話が来ているのですが、那珂市の方から何も話をいただいたことがなくて、実際にメロンだとか、弊社は石岡に事業所があるのですが、廃液や麦芽かすとかが足りないという状況で、皆さんが欲しい、ということで、今那珂市の方ではそういう動きがなくて、ちょっと遅れているのかな、と感じています。地域の活性化と書かれていますが、私たちはモノづくりをしているが、産業へのサポートが少ないと感じている。那珂市のお酒、と思ってくれないのかなと感じています。私は一応後継者という立場ではあるのですが、工場があることを心よく思われていないのかなと最近感じるのです。この間、21時半にパソコンをいじっていたら、クレームの電話がかかってきました。酔っぱらったおじさんから、「うるせーぞ、製造しているな、臭いぞ」と言われました。一生懸命モノづくりをして疲れている中、言われてしまって、その時間に残業していた私たちも悪いのは分かっているのですが、そこに工場があることをよく思われていないという時代で、次世代の私が思ったのは、この那珂市にいる意味がないのではないかな、と。正直、ウェルカムな市が他に多いので。そういうところで、市のサポートが欲しいなと思ったのと、那珂市にこの会社がある意味があるのかなと感じてしまったので、そういう工業や産業に対してのサポート、雇用とか働きやすさとかも含めて、今後いろいろ考えていってほしいなと思いました。地元の若い人たちに、工場見学とかには来ていただいて、雇用につなげていって欲しいです。会社の人たちはどんどん歳をとってきているので若者がとにかく欲しいです。そういうのも是非市と協力したいのでよろしくお願いします。最後なので、長くなりましたが以上です。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局何かありますか。

〔事務局〕 厳しいご意見ありがとうございます。

木内さんとの関係でいいますと、那珂市に木内酒造あり、というような位置付けでよい関係を築けていなかったのかなと、個人的には思いますが、ここ1～2年その状況は変わってきて、木内さんからいろいろご提案をいただいたり、こちらからもいろいろ協力をお願いしたり、徐々にいい関係が築けつつあるのかなと感じており、これから那珂市に木内酒造あり、ということ、存分に生かして、道の駅のこともありますので、共存して一緒に発展していきたいと思っています。

産業振興については、那珂市は農業以外に大きな産業がないのが現状です。

地域活性化につながる土地利用を検討しながら産業振興に結び付けることが可能なのではないかと考えています。そういったことが実現すれば、雇用の創出につながり、若い世代の移住定住につながり、それが税収の増加につながる、ということも意識した上で、計画に盛り込んでいっているつもりです。ご理解いただければと思います。

〔議長〕 ありがとうございます。はいどうぞ。

〔岡田委員〕 社会福祉協議会の岡田です。お世話になっております。

92ページと199ページ、「やさしさにあふれ生きがいのもてるまちづくり」の施策4なのですが、SDGsの（施策1の）「安心して子どもを産み育てる環境

を整える」のところに「飢餓」に●が入っていますが、そこと関連付けますと、施策4の「家庭や地域で支え合あう福祉環境を整える」と、92ページのところで那珂ビジョンの「支援」のところでは、生活困窮者自立支援事業とか、上に生活保護のこととか書いてあるのですね。そういうところからしますと、施策4のところにも「飢餓」に●を入れていただくといいのかなと思っています。実際に生活困窮の業務を市から委託を受けてやっていますが、ここ3年間フードバンクの活用などで社会福祉協議会もいろいろな民間企業と連携しまして、「ひだまり」の方に「暮らしサポートバンク」という食べ物を支援しているところがあり、昨年度の実績は、那珂市の住民に1.5トン程食料を提供したということがありまして、貧困で、生活保護には行かないけど、いろいろな事情で明日食べるものがないという現状の中で、支援をしています。もし施策1の「飢餓」に●が入るのであれば、施策4にも●を入れていただくのがいいと思いました。以上です。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局のほうからはどうですか。

〔事務局〕 ご意見ありがとうございます。先ほどご説明しましたとおり、SDGsの17のゴールと各施策を結びつける際に、主な事務事業と17のゴールの下にぶら下がっている169のターゲットを1つ1つ確認して紐づけを行いました。再度担当課にも確認し、あてはまるかどうか確認させていただきます。

〔勝井副委員長〕 地域連携も重大な課題と思います。135から139ページに記載があります。先日、NHKのニュースで、日立市と常陸太田市、それから大子町が、共通の地域課題の解決に向けて経済産業省の関東経済産業局と連携して取り組むことが報じられていました。例えば常陸大宮市と合併するとか、いろいろと、生き延びる方法はあるのではないかと。地域連携について、観光PR事業とか県央地域定住自立圏とかいろいろあると思いますが、日立市の取組についてどう評価しているのか、あるいは将来具体的に進める何かがあるのでしょうか。委員長はその辺りベテランです。そういう方を中心にこういうことを考えているかどうか、どうでしょうか。

〔議長〕 そうですね、日立市の取組は細かいところまでは記憶にないですが、日立の取組は元々県があのエリアを対象に中小企業振興という枠を作ってやっています。振興局も関わったりしてやっていたのですが、当然中小企業が集まってやるのは良いことだと思います。那珂市についてはどうなのか、ということですが、県央地域の首長会議、あるいは県北地域の首長会議等々いろいろやっていますが、どういったものが広域連携できるか、そういったことをやっています。これから、人口が減少していく中で、当然いろいろなものを連携してやっていく、特に災害などは、そういったものについては今後決めていくことになるかと思っています。例えば、那珂市でいうと、焼却（ごみ処理）などもやっていますし、どういったものができるのかこれからは検討を進めていきたいという風に考えています。

その他、ございますでしょうか。

大学生の方々にも、せっかくです。ご意見あったらお願いしたいのですが。

〔大津委員〕 常磐大学の天津です。103ページのGIGAスクール構想ですが、GIGAスクール構想はメリットもありますが、デメリットもあると思うのですが、デメリットが問われていると思っていて、その課題として「専門的技術や知見を有するICT支援員などを配置するなど、教職員への支援を強化する」と書いてありますが、デメリットとして、お子さんへのデメリットとして、授業中に低学年の子どもはタブレットで遊んでしまったりとか、そういう集中力の低下とか、又は視力の低下、インターネットセキュリティの問題などいろいろあると思うのですが、そういったデメリットへの対策というのは出ていないので、その辺りについてどうなっているのかなというのが少し疑問に感じました。以上です。

〔田口委員〕 学校教育課の田口と申します。ICTの活用に関しては、委員のおっしゃるとおり、メリットの他にデメリットもございます。そういったことについては、各学校

のICT担当の先生方が集まった会議の中で、今後どのようにタブレットを活用していくかということ協議しながら、進めているところでございます。以上です。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ございますでしょうか。

〔松淵委員〕 先ほどの木内さんの意見を聞いて感じたことを述べます。

行政が高い位置にいて降りてこない、そんな感じがしていました。我々は民間の会社にいますが、下に降りてきて同じ目線で話をしないと理解できない。そういう意味で、行政は下まで降りてきてしていないという感じを受けました。あくまで私の個人的な意見です。

質問は、175、176ページ、市民のワークショップで出た意見として、176ページの施策の大綱2「安全で快適に暮らせるまちづくり」の中に「施策4 健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る」というところで、「太陽光発電が山林に設置されていて、降雨時に不安になる」とあると書かれているので質問したいと思います。私は平野に住んでいますが、数日前、平野の近くの中里に新しい太陽光発電（装置）ができるということで、県の方の認可が下りて。その中で気になったのは、浸透式の貯水池。これを作るのに、30年に1度の大雨に対しての池を作ると聞いたのです。国は2017年に水防法の変更とともに、大洪水時の洪水ハザードマップを修正したばかりです。国が修正したハザードマップは、100年から200年に一度ではダメなので、1000年に一度に変えているのです。これに対し30年に一度の雨に対応する貯水池。この「不安になる」という文章を見て、非常に気になったので、その辺どうなのかなと思い質問しました。

〔議長〕 正確ではないかもしれませんが、森林法の許可だと思います。これは県の許可になります。県の許可基準がそうなっているということで、それでいいのかどうかは別として、森林法の法律上の許可基準を通れば認めることになってしまいますので。ただ、お話あったようにそれでいいのかは自治体の方から国に上げていく、改正すべきところは改正してもらおうような、そういう取組をやっていかなければいけないのかなと思います。太陽光発電の後始末が心配だという地方からの声があって、国の方から事業者に積み立てをさせて、将来の廃棄に備える、という制度ができました。そういった形で地方から声を上げて、いろいろな取り扱いについて見直しを求めていくということが大事なのかなと思いました。

〔勝井福委員長〕 那珂市には、20年から30年住んでいるのですが、そこそこいい具合に田舎町です。静かで、防犯防災という点でも、大きな事故などがない静かなまちです。市政も比較的安定していると思います。ただし、まちに賑わいがありません。どこでもそうかもしれませんが、市が生き延びていくためには、市は岐路に立っていると思います。市は前期計画に基づいて、行財政改革の推進による自立したまちづくりを目指す、と書いてあります。将来にわたり持続可能なまちづくりを目指すということですが、その道は決して容易な道ではないと思います。市の皆さんにも大いに汗をかいていただく必要があると思います。自立したまちづくりを目指す上で最も基本的な視点は何かということを見ると、二つあると思います。一つは、市には昔からずっと変わらない有形無形の何かがあるはずで、それを是非見つけてもらいたい。それを再生して守っていききたい、そういう視点がまず大事だと思います。もう一つは、どこでも言われていることですが、人を大事にすること。人のつながりとか、和ですね、平和の和、和を大事にする、人と人のつながり、それから生き物、自然とのつながり、そして将来の人とのつながり、そういうことを大切にすると、そういう視点を持ってまちづくりを進めていただければ、交流が進んで、賑わいがあり、市の良さが知れ渡るようになって、結果として人口の移住とか少子化対策になっていくと思います。市の皆さんには、情熱をもって、市政を進めていただければと思います。

〔議長〕 ありがとうございます。そういった気持ちを持って、今後市政運営に取り組んで

参りたいと思います。

〔宮崎副委員長〕 意見が2点、要望が2点あります。

一つは、67ページを見ると、少子高齢化ということで、那珂市は集約型の都市形成を推進するとあります。それから3つ目の●のところで、市街化調整区域の集落機能の維持が難しい、ということになっています。それでは活力ある那珂市というのは、一体どういうイメージなのか、ということになりますが、重要となってくることは土地の利活用、そして空き家対策、これらが重要と思います。

もう一つの意見は、計画全体の話ですが、成果指標について、本当にできるのか、という指標もあります。例えば、自治会の加入率とか。相当危機感をもって、毎年PDCAを回していけないと、なかなか難しいのではないかなという意見です。

それから要望の1点目、住みやすいまちづくりを目指すということでデジタル化が重要になってくると思います。一方ではホームページを見ると、どうしても市役所中心のホームページの作りになっています。利用者の見やすいホームページにはなっていないですね。分かりやすい、探しやすい、皆さんが情報に簡単にアクセスしやすいホームページづくりを目指してほしいと思います。ホームページについては、どういうホームページを見たかというログ（記録）がありますので、そういうものを頼りにどんどん改変していいホームページにしてほしいと思います。私としては千葉市役所のホームページが使いやすく見やすいです。こういう参考となるホームページを是非探して、皆さんに使われるものにしていただきたいと思います。

要望の2点目は、行政の効果的効率的な運営ということがありますが、どうしても縦割り行政というのがあります。うまくやれないことがあるので、この辺の改善を是非お願いしたいと思います。また、この文章にも書いてありますが、市民目線の適切な説明、これも是非行政サービスの向上に際してやっていただきたいと思います。以上です。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局からありますか。

〔事務局〕 ご意見ありがとうございました。空き家対策が大切という部分は、計画にも記載していますが、ご意見参考にさせていただきます。また、デジタル化のことにも触れていただきました。見やすい探しやすいホームページということで、千葉市役所の参考事例も教えていただきましたので、担当に伝えて、改善の機会を見て、取り入れていきたいです。また、効果的効率的な行政運営の改善ということで、接客、お客様と接する部分は大切だと思います。連携協定を結んでいる京成百貨店さんの教を乞うこともあります。またコロナ禍が明けてきたので、そういった機会を積極的に活用して、市役所の接客などに活かしていければと思います。ご意見ありがとうございました。

〔山口委員〕 【資料1】の176ページですが、ワークショップで出た意見で、「1 みんなで進めるよいまちづくり」の施策3のところで「SNSを活用してほしい」とあるのですが、今SNSはどこの自治体も使っていて、ツイッターだとかラインだとか、特にツイッターですと、興味がない市だと、見てくれる人もなかなかいないという印象があって、SNSにしても何か新しい見やすいというか、別方向というか、誰かが必ず見てくれるという周知が必要なのかなと思います。大学と連携する機会をくださるのはとてもありがたいですし、市のいいところがより広く伝わるきっかけになるのではないかなと思います。なので、何か新しい情報の広げ方を模索したほうがいいのかなと思っています。以上です。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局からありますか。

〔事務局〕 ありがとうございます。見やすさ、キャッチーさに置き換えられるのかなと思います。フェイスブックやツイッターなどというものは、意識しないと流れてしまう情報ということで、そういったことを活かしながら行きたいです。また、那

珂市公式ラインの方を始めておまして、本日現在でお友達が6,900人を超えるようになっていきます。イベントとかそういったものを毎日配信していますので、皆様も是非ご覧いただき、また皆さんで那珂市情報を発信していくという、皆さんと協働して作っていったらと思います。ありがとうございました。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ありますでしょうか。

〔中島委員〕 常磐大学の中島です。先ほどお話に出た、那珂市のSNSの中でもラインの方を個人的にフォローしていますが、まず窓口を広げたとして、フォローした後に、情報は流れて来て、知らなかったことが知れるのは良いと思いますが、実際に知った上でそこに行こうと思うかは、その情報が自分に関係あるか、あまり自分に関連のない（情報が多く）、フォローした利点をあまり感じられないので、どうしても全市民に向けて発信している話題なので、内容が広がってしまうと思うのですが、もうちょっと若者というか、若年層に向けたラインの情報を入れてくれるといいのかなと思いました。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局ありますか。

〔事務局〕 ありがとうございます。確かに、市役所からの情報なので、全世代的な情報になってしまうところはおっしゃるとおりかと思います。ちょうど秋のイベントシーズンなので、芳野の朝市ですとか、文化祭、映画鑑賞など、最近流しているのは、割と若者向けの情報もありますので、是非関心のあるものがあれば、着目していただいて、今後ともごひいきにさせていただけたらと思います。他の世代の方も、空き時間などに参加していただけるようなイベントが目白押しです。そちらの方も是非ご活用いただければと思います。ご意見ありがとうございました。

〔野田委員〕 29ページの、基本事業1「自治会活動への参加意識の形成」についてですが、「市民自主組織と連携した取組により、自治会への加入促進や退会抑制に努めます」とありますが、具体的にどういうグループをイメージしているのですか。

〔事務局〕 市民自治組織については、まちづくり委員会と自治会を想定しています。

〔野田委員〕 自治会の会長さんがまちづくり委員会の主要メンバーなんです。ですから、市民自治組織というのは、別のところを含めて言っているのではないですか。まちづくり委員会を、市民自治組織としているのでしょうか。そうしたら、自治会活動の促進は、そのものズバリ（自治会が主体）ではないのでしょうか。ちょっと認識が違うのね我々と。

〔事務局〕 まちづくり委員会と自治会と、市が連携して取組を検討して、加入促進や退会抑制に努める、という趣旨でこの表現をさせていただいています。ですので、市と市民自治組織が一緒になって連携して進めますよという趣旨でございます。

〔野田委員〕 ということは、今やっていることが、現状のままだね。それをもっと活性化します、ということ。

〔事務局〕 はい、現状でなかなかうまくいっていないと受け止めていますので、一緒になって新たにどういったことをやっていくのが良いのかというのを、一緒に検討していくということです。

〔野田委員〕 はい分かりました。とにかく自治会活動は減の一方ですから、それを（自治会加入率を）70数%に上げていこうというのだから、これは相当な努力が必要なのに、基本的にここに書いてある市民自治組織と連携したという表現は、今やっていることなんですね。それをグレードアップしていくという意味合いね。

〔事務局〕 はい、連携してグレードアップした取組というのを検討して模索していきますという趣旨です。

〔野田委員〕 もっと別の組織と連携していくのかと思ったものですから。はい、分かりました。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ありますか。

〔小針委員〕 常磐大学3年小針です。皆様みたいな有意義な意見というわけではなく、細かい意見なのですが、用語集が新しくできて読みやすくなったと思うのですが、この資料全体を読んでいて気になったのが、例えば57ページの方針1で追加した文言の中に「助言及び指導」とあるのですが行政用語だと思うので、一般人からしたら行政用語は分からないと思うので、行政用語も用語集に入れたらいいのかなと思いました。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局ありますか。

〔事務局〕 ご意見ありがとうございます。分かりにくい言葉が少しまだ入っているというご指摘と承りましたので、またこちらについて改めて検討していきたいと思います。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ありますか。

〔上原委員〕 116ページなのですが、「スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える」というタイトルですが、そこで思いついたのですが、那珂総合公園もありますし、那珂西リバーサイドパークというのもあります。これを拠点にしてマラソン大会なんかをしたらと、思いつきなのですが。3年前に体育協会の集まりがあり、マラソン大会どうでしょうか、と話をしたら、それは現状ではできないよ、と言われました。自分で走っているから言うのですが、効果が結構あるのです。年を取ってくると、高血圧とかコレステロールとか、薬を飲んでいる方が多くなります。私は40代からランニング初めまして、今72歳ですけど、薬の世話にはなっておりません。何人かの知り合いに聞きますと、薬は飲んでいませんよというのは一つの自慢だなと思います。これが1つ。数年前に水戸市内で黄門マラソンに参加してみたのですが、1万5千人集まったのですね、参加費が一人8千円だったのです。単純に計算して随分のお金が水戸市に集まるのです。それを集めるだけでなく、配るのです。ランナーが1万5千人の他に、家族の者が付き添いで来ますので、朝9時のスタートですが、前の日に泊まるのですね。で、この水郡線沿線で言いますと、常陸大宮でも、大子でも、常陸太田でもやっています。それぞれ特徴のある大会ですね。常陸大宮はゴルフ場を走る大会なのですが、山形県から来ている人もいます。ランナーというのは、これ良さそうだなと思えば、遠いところまで足を延ばしてくれるのです。1つの提案ですが、県民の森と県の植物園があります。あの中を走るコースを設定してくれたら10キロくらいのコースができるのではないかと思います。いくつかのコースを設定すれば、2千から3千人は集まってくれるのではないかと思います。距離を短くして小中学生の走るコースを作ると、スポーツに親しむ環境が整うのではと考えております。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局ありますか。

〔事務局〕 日常的にスポーツを取り入れて大変すばらしいことだと思います。お話を聞いていますと、県民の森ですのでトレイルランというイメージになるのかなと思いました。こちらは担当の方に申し伝えたいと思います。また、政策企画課の話になりますが、自転車の活用推進の方も進めております。「いい那珂サイクルグルメツアー」を実施したり、先日の日曜日には「ハーフセンチュリーいばらき大会」の方に、大阪から参加される方もいたことも、ご報告させていただきます。ご意見ありがとうございました。

〔上原委員〕 ハーフセンチュリーに参加したことがありまして、これは気持ちがいいですね。

自分で自転車を購入しますと、結構いい値段がします。私が40代の時に購入したので大部前ですけど、当時20万円くらいかかりました。今はもっとすると思います。ランニングだと、靴や上下のウェアで1万円くらいで済むので、安上がりだということを申し上げたい。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ありますか。

〔綿引委員〕 アグリビジネスネットワークフェルミエ那珂の綿引と申します。

130ページ、人・農地プランについて伺いたいと思います。

この事業は昔からやっている事業で、本当に地域の課題を見付けるには非常に大切な事業だと思います。先ほどから出ていますが、もう農業を営む者だけでは解決できないような課題がたくさん出てきています。ですので、幅広く市民の方に参加していただいて、人・農地プランを、地域の大切なプランとして進めていただければと思います。令和4年度から、新しい手法を入れて進めていると聞いているので、具体的に紹介していただければありがたいと思います。

〔会沢委員〕 農政課長の会沢と申します。ご質問ありがとうございます。

人・農地プランにつきましては、今年度、旧村単位で、8地区でただ今取り組んでいるところでございます。座談会を過去に取り組んできましたが、コロナの関係で今年度は4年ぶりの開催となっています。他の産業もそうですが、人手が足りない、というところで農業の方も、農地を守っていく方、これから担っていく方に、本市だけの課題ではありませんが、市の取組としても、地域ごとに特有の課題というのもあると思いますので、地域の同業者、農地をお持ちの方、既にその地域を担っている方、あるいは農地は持っていないけど地域にお住まいの方、我々としても多くの立場の方に参加いただいて、この地域の農業を今後どうやっていくのか、みんなで話し合っていくというのが人・農地プランの座談会の中身でございます。新しいやり方というところでは、座談会は行政側と向かい合ってやる座談会とか形式があると思いますが、今年度は、グループワークというようなやり方で、1グループ5～6人で、グループになってもらって、その中でぎくばらんな話し合いができる雰囲気づくりを取り入れています。音楽を流してリラックスしてもらおうとか。雰囲気作りも工夫しながら取り組んでいるところです。

今年度8地区を予定していますが、現在3地区で終了しています。参加者はおおむね思ったより楽しくできたのご意見いただいています。残りの5地区も、同じ形でできればと思っています。今年度1回で将来の課題が全部解決できるところまでは行かないと思いますので、来年度以降も引き続きやっていきたいと考えています。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ありますか。

〔三瓶委員〕 JPCの三瓶と申します。

25、26ページの中ほどに「DXで便利なまちへ」、そして計画全体でDX推進という言葉が盛り込まれていると思いますが、実際にDXを推進するには、単なる業務の見直しとは違いまして、組織の役割とか業務のプロセスの全体の見直しからする必要がある、なかなか大変な事業だと思っています。そのDXを推進するために、具体的にどのような取組を進めていくのか、またいろいろ便利なまちとか、そういう言葉が出てくるのですが、DXを推進して、行政の目指すものが何か分かれば、教えてもらえればと思います。

〔議長〕 事務局ありますか。

〔事務局〕 ありがとうございます。今回DXと表現していますが、広くデジタル化という趣旨の部分がありまして、各ページにかなりちりばめられているところがあります。例えば、第1章の施策2の最終ページ「基本事業3 ICTの活性化による地域の活性化」です。33ページです。そこに、教育の充実などにICTを活用したり、GIGAスクール構想について触れたりというところもあり、各施策でデジタル化

を取り入れていくという流れで進めていきたいという風に思います。

また、別の一例を挙げますと、第4章の施策6、125ページですが、上から4行目「不確実な世界情勢の中でも交流の機会が持てるようICTなどを活用した取組を推進します」と、このように、各施策にちりばめてた形で、市役所の全事業の中に取り入れていく、という趣旨で総合計画の基本計画の中に盛り込んでいます。そちらをご確認いただけたらと思います。ありがとうございました。

〔議長〕 ありがとうございました。補足しますと、那珂市のデジタル化は遅れているかなという感じはします。三瓶委員もご承知のとおり、まずは今、基幹となるシステムの標準化と行政手続のオンライン化について、国が示した年度が決まっていますので、それはきっちりやる。その上で、住民サービスに寄与できるようなものを、行政内部の手続の見直しを踏まえながら、順次広げていく必要があるだろうと。そのためには市役所の中の体制の拡充等も含めて、この後期計画においてしっかりやっていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

その他ありますか。

〔後藤委員〕 那珂市の特産品、ブランド品というのが昨年で33品目ありますと書かれています。先日、全国を回っている業者の方が那珂市に来られて、那珂市の特産品をお土産にしたいのですが、何がいいかなということで、探したときに、いろいろなものを頂いていて分かってはいるのですが、それぞれのお店が別なので。茨城国体があったときに、那珂市は乗馬をやりまして、イベントで那珂市の特産物の詰め合わせを売っていたのです。そういったものがあれば、そのときにはイオンでもそういったものがあって、那珂市のお土産にするのにちょうどいいなと思っていました。現在ですと、木内酒造さんの場合はお酒を、そのときはお酒と一緒に差し上げたのですが、バラバラになってしまう。例えば、お菓子類であれば、詰め合わせて売ってれば、那珂市のお土産として差し上げられるのではないかと、そうすると那珂市の活性化、それぞれの商店の活性化につながると思うので、市役所にもこういったものが那珂市のブランド商品ですよ、というのが出ているにもかかわらず、買うとなるとバラバラなので大変かなと思います。主婦の私としては、詰め合わせがあるといいなと思っていて、そういったものを提供してくれるお店があればいいなと感じています。市役所と商工会で考えていただければ嬉しいなと思います。

〔議長〕 ありがとうございます。事務局ありますか。

〔事務局〕 ありがとうございます。確かに国体のときに、セットものがあったのは承知しております。今のご意見ですが、産品をセットで販売するというのは、というご意見と、買いやすい環境づくり、というものあると思います。こちらにつきましては、我々がやっています、ふるさと納税の返礼品に関することになるかと思えます。セットものであればもう少し興味を引くかな、ということもあるかと思えますので、貴重なご意見としてお預かりしたいと思います。ありがとうございます。

〔議長〕 ありがとうございます。その他ご意見ご質問ありますか。

特になければこの内容をもって、11月29日に予定している総合開発審議会の方に諮りたいと思いますがよろしいでしょうか。

(特に意見なし)

ありがとうございます。それでは次に移ります。

3 その他

〔議長〕 それでは、次第3「その他」です。事務局の方から報告があるということですので、事務局をお願いします。

〔事務局〕 スケジュールについてでございます。

本日、皆様からいただいた意見を基に、今回お示しいたしました、「後期基本計画（案）」に必要な修正を加えさせていただきまして、今月11月21日（月）に開催予定の、庁内の最高意思決定機関である「庁議」に付議し、そこで「後期基本計画（案）」を決定し、11月29日（火）開催予定の「第3回総合開発審議会」で、その「後期基本計画（案）」を審議いたします。

さらに、12月16日（金）開催予定の「市議会全員協議会」において、「後期基本計画（案）」の報告をさせていただき、最終的には、12月19日（月）開催予定の「部長会議」で「第2次那珂市総合計画 後期基本計画」が確定したことを報告する予定でございます。

なお、印刷製本した「総合計画 後期基本計画」の冊子につきましては、来年3月、年度末になりますが、委員の皆様にお配りすることとしておりますので、ご承知おきください。

また、「概要版」につきましては、令和5年4月号の「広報なか」とじこむ形で、市民の皆様配布する予定であります。

事務局からは以上となります。

よろしく願いいたします。

〔議長〕 以上で、本日の協議事項は全て終了いたしました。

委員の皆様には、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。この策定委員会は、本日が最後の会議となります。今年の6月から計3回の会議を開催し、皆様から貴重なご意見を多数いただき、計画策定に向けて作業を進めてきました。耳の痛い意見もございましたが、そのとおりだと思っております。我々行政としては、本当に地域の皆さん方の声を聴きながら、一緒に取り組んでいきたいと思えます。木内さんのほうから厳しいご意見がありましたけれども、那珂市職員はシャイなためなかなか言えないのかと思うのですが、最近私の方は結構出入りさせていただいて、一緒になって地元と共にやって行きたいと思っておりますので、引き続き、ご指導、ご支援賜ればありがたいと思えます。この後期計画がしっかりと実のあるものになるように、皆様のご支援を頂きたいと思えます。どうもありがとうございました。

4 閉会

〔司会〕 皆様、長時間にわたり、慎重なご審議、ありがとうございました。

改めて、後期基本計画策定に向けてご尽力いただき感謝申し上げます。本日いただいた貴重なご意見も参考にさせていただき、より良い計画に仕上げていきたいと存じます。

以上をもちまして、令和4年度第3回那珂市総合計画策定委員会を終了いたします。

本日は、長時間にわたり大変お疲れ様でした。

〔終了〕